

事例44

< 事例概要 >

- ① 幼児、脳動静脈奇形からの出血に対する緊急開頭血腫除去術後の患者。全脳虚血状態。
- ② 栄養管理のため、内頸静脈に中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ 身長118 cm（体重不明）。抗血栓薬の使用は不明。
- ④ 内頸静脈（左右不明）より作図法で穿刺。ガイドワイヤー挿入時に抵抗はあったが、3回目の穿刺ではガイドワイヤーを挿入でき、超音波で静脈内にあることを確認した。カテーテルを9～11 cm挿入し、逆血を認めず、カテーテルを抜いてきたところ、血液の逆流をみとめた。このころより血圧の低下を認め、心肺停止。画像上血胸を認め、胸腔穿刺にて血性胸水（200 mℓ）を除去し、胸骨圧迫、除細動、輸血など実施し心拍再開。その後、肺炎、尿路感染などを繰り返し、穿刺から約1年半後に死亡。
- ⑤ 死因は、脳出血による脳幹機能障害、敗血症。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。